年頭のごあいさつ

代表理事組合長　小吹敏博

新年にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は年初より、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大するという、人類史上、未曽有の危機に直面いたしました。

今般の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになった方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、感染された方々やそのご家族、不安のなかにおられる方々に対して、心からお見舞いを申しあげます。

昨年は、感染拡大の影響が広く実体経済へと波及するなかで、当JAにおいても会議や行事等について中止や規模を縮小する等の対応を迫られました。

まず、えびの市物産館については、4月25日から5月10日までの16日間、8月8日から16日までの9日間と二度にわたって休館することとなり、出荷者や利用者の皆様には大変なご心配とご迷惑をお掛けいたしました。

次に、田の神さぁの里産業文化祭については、芸能部門は行わず、大幅に規模を縮小しての開催となりました。

また、令和2年度産の水稲については、天候不順の影響により作況指数94「不良」の年となりました。7月に発生した豪雨により、大河平地区をはじめ市内の多くの水田が、冠水や土砂の流入等の被害を受けました。被害に遭われた全ての皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早く復興できるようJAとしても支援してまいる所存です。

昨年11月に香川県で発生した高病原性鳥インフルエンザについては、12月に宮崎県内でも発生が確認され、予断を許さない状況にあります。引き続き、関係機関と一体となって防疫に努めてまいります。

近年、自然災害が続いておりますが、本年こそは豊穣の一年となることを願ってやみません。

新型コロナウイルス感染症や高病原性鳥インフルエンザ、自然災害などいずれも容易には解決しえないものですが、人と人の繋がりである「協同の力」によって困難を乗り越えていくために協同組合は誕生しました。

このため、本年もJAえびの市は「農業者の所得増大」と「地域の活性化」を柱として、今年の干支である「丑」のように、一歩一歩着実に自己改革に取り組んでまいりますので、引き続き組合員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた明るい年になりますことを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

目次

私達丑年生まれ・・・・・・・・ 2
年頭のごあいさつ・・・・・・・ 4
米最終精算のお知らせ・・・・・ 5
地域の話題・・・・・・・・・・ 6
ほおずき通信・・・・・・・・・ 9
営農情報　畜産関係・・・・・・ 10
営農情報　園芸関係・・・・・・ 12
営農情報　農産関係・・・・・・ 14
営農情報　担い手支援関係・・・ 15
自己改革の取組み・・・・・・・ 16
質疑応答・・・・・・・・・・・ 18
クロスワード当選者発表・・・・ 24
行事予定・・・・・・・・・・・ 24

新たな時代を楽しむ喜びの一年に

JA青年部長　東　慶良

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素より青年部活動に対し、皆様のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和２年は新型コロナウイルスの感染拡大によって、これまでの常識が大きく変わった一年でありました。現在もなお、世界経済は危機に直面しており全く予想もつかない状況にあります。

そのようなコロナ禍だからこそ、今までの考え、今までの行動の常識にとらわれず、変化に対応し続けることが大切だと教わりました。まさに私達青年に求められるリーダー像の一つだと言えます。

例えば鶏卵相場が20年振りの低卵価で推移するなど農産物の需給バランスが崩壊し混迷の極みという見方もありますが、個人的にはこれからどのような変革が起こるのかワクワクする気持ちも沸いています。

ピンチはチャンスだとよく言われます。幕末や戦後に匹敵する百年に一度の有事との遭遇に感謝し、変化を受け入れ、新たな時代を楽しむ喜びの一年にしたいものです。

結びになりますが、皆様のご健勝とご多幸をご祈念するとともに、引き続き青年部活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

できることから始めよう

JA女性部長　松永　亮子

明けましておめでとうございます。

新しい年をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は一年間を通して新型コロナウイルスの感染拡大の影響が影を落とす中、自然災害や鳥インフルエンザの発生があり心の落ち着くことのない年でした。

現在もコロナ禍の影響は続いています。私達女性部も活動を休止する状況になりましたが「できることから始めよう」と、感染防止対応を取りながら活動を再開しました。規模を縮小した田の神さぁの里産業文化祭では、毎年恒例となった飯野高校生とのコラボで「秋の実りごはん」を作り、販売しました。そのほかにも料理教室やエコバッグ作り、ウォークラリー、フレッシュミズによるリース作りと、密を避け少人数で行うものに限りますが、少しずつ活動の幅を広げています。「できることから」の精神で、これからも地域の方々と一緒に人と人とのつながりを大切に活動していきたいと思います。

今年も引き続き皆様方のご協力、ご理解をお願い申し上げます。

令和元年産米　最終精算のお知らせ

令和元年産米は、厳しい販売状況が続く中、精米工場を最大限に活用し付加価値をつけた有利販売等を行った結果、ヒノヒカリ一律３０円（税込）の追加精算払いができましたのでお知らせします。貯金口座へは令和２年１２月２４日にお振込みいたしましたので、ご確認ください。

また令和２年産米についても、少しでも多くの追加払いができるよう、なお一層の販売努力をしてまいりますので、今後ともＪＡへの出荷をよろしくお願いします。

（単位：１袋 30kg / 円　税込）

	ＪＡ米等級	仮渡金	最終精算	合　計
ヒノヒカリ	１等	7,620 円	30 円	7,650 円
	２等	7,470 円	30 円	7,500 円
	３等	7,020 円	30 円	7,050 円

※一般米につきましては、左記ＪＡ米合計金額より150円安くなります。
※規格外米・もち米・その他米につきましては、販売の都度精算しています。

令和２年産　屑米精算のお知らせ

令和２年産屑米の販売が完了しましたので、下記の通りお知らせします。なお、代金につきましては、令和２年１２月１０日に口座へのお振込みを完了していますので、ご確認ください。

令和２年産屑米精算単価（税込）
3,510 円／ 30kg（117 円／kg）

あたたかい　言葉のシャワーで　えがおさく